



道に迷う

道に迷う

地形が複雑な上に、踏み跡も錯綜。頼みの赤テープは違う方向に。地図アプリを見ながら稜線にたどり着いた。

至：釈迦ヶ岳

かつての道標はしっかりあるものの、核心部に至っては地形が複雑な上に、踏み跡も錯綜。頼みの赤テープは違う方向にpochie（投稿者名）を誘う。時間を区切って、この時間まで赤坂谷を歩き倒す！と開き直った途端に道は開けた沢の渡渉が苦手な疲れちゃった。せせらぎに癒されながらお腹を満たし、お気に入りのレコとコメントを思い出す。『忠実に沢を遡る 難しくはない』その言葉のとおり、水量の減った赤坂谷は優しくpochieを導いてくれた。遡る沢を今一つのところで間違え源頭部へは行けなかった。（HP参照）

地形が複雑なバリエーションルート。過去の看板は役には立たない。このような地形では、地図アプリは現在位置を把握することはできるが、これからどの方向に進んだらよいのか迷ってしまう。

山でコンパスを使っている方をあまり見ないのが残念だが、コンパスを使えると進行方向への不安は消える。コンパスで方向を示す。5分進み現在位置を地図アプリで確認する。この2つの動作を繰り返すことで道迷いはぐっと少なくなる。コンパスを使えるようになるとバリエーションルートでも楽しくなる。